

伊賀警察署だより



年末年始の犯罪・交通事故に注意！

年末年始は、金融機関やコンビニエンスストアを狙った強盗や、車上ねらいなどの犯罪が多く発生する傾向にあります。

犯罪被害を未然に防ぐために、日頃から防犯意識を強く持ち、次のことに注意しましょう。

- 車から離れるときは必ず施錠する
- 車内にかばんなどを放置しない
- 多額の現金を持ち歩かない

また、年末年始は慌ただしく、帰省する車や初詣客の車などで普段よりも交通量が増えるため、交通事故が多発する時期です。

運転者は、横断歩道は歩行者が優先であることを認識しましょう。また歩行者は、横断歩道を渡る時は運転者と目を合わせたり手を挙げるなどして、自分の存在を知らせて安全を確保しましょう。

【問い合わせ】 ○伊賀警察署 ☎ 21-0110
○名張警察署 ☎ 62-0110

忍者線（伊賀線）だより



優良事業者等表彰を受賞

伊賀鉄道(株)は、輸送の安全確保に対する積極的な取り組みにより、中部運輸局運輸関係優良事業者等表彰を受賞しました。お客様の安全を第一とした日頃のたゆまぬ運行管理と、鉄道施設の確実な保守により達成した長期間の無事故運転が功績として認められたものです。これからも、利用者の皆さんの安全・安心につながる取り組みを続けていきますので、伊賀鉄道伊賀線をどうぞご利用ください。



【問い合わせ】
○伊賀鉄道(株) ☎ 21-0863
○交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

縁起のいい切符で信楽へ

信楽高原鉄道では、毎年恒例の干支切符を販売しています。この切符は、信楽～貴生川間の大人1人、小人1人の往復乗車券となっています。また、幸せを運ぶ信楽焼の干支の置物も付いてきます。縁起のいい切符を手に、ぜひ信楽にお越しください。



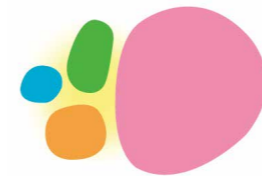
【販売数】 先着 500 枚
【料 金】 1,420 円 (税込)
【切符有効期限】 令和 5 年 12 月 31 日
【販売方法】 信楽高原鉄道「信楽駅」または電話、ファックスで注文
【問い合わせ】 信楽高原鉄道株式会社
☎ 0748-82-4366 FAX 0748-82-3323

亀山市

亀山市歴史博物館 第 39 回企画展 「通い徳利のひとりごと」を開催中！

亀山市には、かつて多くの醸造場があり、醤油や酒が造られていました。企画展では、市内で使われていた「通い徳利（量り売りの際に貸し出されていた容器）」や酒樽など館藏品などを通じて、その歴史をひもときます。

【と き】 12 月 11 日(日)まで
【と ころ】 亀山市歴史博物館企画展示室
(亀山市若山町 7-30)
【開館時間】 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
※毎週火曜日休館
【展示観覧料】 無料
【アクセス】 JR 亀山駅から徒歩約 20 分、名阪国道「亀山 IC」から車で約 10 分
【問い合わせ】 亀山市歴史博物館
☎ 0595-83-3000



伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏ニュース



伊賀城和

伊賀市

笠置町

山南城村

山添村

【問い合わせ】 総合政策課
☎ 22-9620 FAX 22-9672
✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



昨年度の主な取り組み

◆ロゴマークの作成

当圏域のさらなる絆を深めるため、圏域を PR するロゴマークを作成しました。ロゴマークは、圏域を構成する市町村の位置や形をイラストで示し、生活圈を共有する圏域の一体感をイメージしています。

さまざまな場面でロゴマークを活用することで、圏域の一体感を養い、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成をめざします。



◆「カンジョウナワ行事のヒミツ」講座の開催

伊賀市をメイン会場（ハイトピア伊賀）に、山南城村にサブ会場（やまなみホール）を設置し、オンライン配信で講座を実施し、圏域全体から参加がありました。

◆圏域の取り組み紹介動画の放送

4 市町村の定住自立圏担当者による圏域の取り組み紹介動画（「特集 伊賀城和定住自立圏の取り組み」）を制作し、ケーブルテレビ、伊賀市公式 YouTube で放映しました。動画はこちらからご覧いただけます。



第 2 期共生ビジョン

「共生ビジョン」は、今年度より第 2 期の計画がスタートしています。第 1 期では、救急・健康相談ダイヤル 24 を圏域全体に拡大、伊賀市斎苑の圏域町村住民の使用料金均一化や、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとして、圏域証の発行などさまざまな面で 4 市町村が連携して、圏域住民が安心して暮らせる圏域づくりに取り組みました。

第 2 期においても、圏域のさらなる絆を深め、共生ビジョンに掲げる、「圏域でつながり、暮らしの安心を支える」、「活発な交流により、賑わい創出する」の 2 つの視点により取り組みを推進します。

なお、各年度の具体的な取り組み状況には、市ホームページをご覧ください。



伊賀・山城南・東大和定住自立圏では、「共生ビジョン」に基づき 4 市町村で連携して事業に取り組んでいます。取り組みを進めるにあたっては、圏域住民などで構成する「伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下、ビジョン懇談会）」での関係者の意見を幅広く反映することとしています。さらには、首長などで構成する「伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会（以下、推進協議会）」で、それぞれの取り組み成果の把握・検証を行うなど、PDCA サイクル*を構築し、次の施策や事業へ繋げることをしています。

今年度は、8 月 19 日(金)にビジョン懇談会、8 月 26 日(金)に推進協議会を開催し、昨年度の取り組み実績、今年度以降の事業計画について協議しました。

* Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) の 4 段階を繰り返して、継続的に業務を改善する方法



推進協議会の様子

ロゴマークと後援名義などの使用について

圏域のロゴマークは皆さんにご利用いただけます。使用する場合は、申請書を提出し、承認を受ける必要があります。また、推進協議会の後援なども申請できますので、イベント開催などの際はぜひご検討ください。なお、申請方法など詳しくは市ホームページをご覧ください。

